東北

◇仙台支局◇
仙台市青葉区本町１丁目２-20
ＫＤＸ仙台ビル３階
☎022(227)0685
FAX022(224)7485

山形ガス
総合エネ企業へ
山形ガス燃料を合併

山形ガス（本社・山形市、鈴木俊伸社長）は1日付で子会社の山形ガス燃料（同、中村喜兵衛社長）を吸収合併し、都市ガスとＬＰガスを一体的に販売する体制に切り替えた。エネルギー小売の全面自由化による顧客の流動化と少子高齢化に伴う顧客の減少に備え、エネルギーを複合化させ競争力を強化し、顧客の囲い込みを進める。営業体制の融合化を図り、総合エネルギー企業を目指す。

鈴木俊伸社長

「エネルギーが自由化され、山形市で新たな都市ガス事業者の参入はないが、ＬＰガス事業者からの切り替え攻勢は今後さらに激しくなると予想している。少子高齢化による需要家の減少も進むため、顧客囲い込みをしなければならないと判断した」（鈴木社長）。

そのため２０１８年に実質値下げとなるガス料金の改定を行い、同時にガス代などに応じてポイントをためられるサービスをスタートさせた。ポイント制にはこれまで４千戸が加入している。

さらにエネルギーの提案メニューを増やして顧客ニーズに対応できるようにするため、またグループ企業の経営資源を集中させ経営の効率化を図るために山形ガス燃料との合併を行った。「合併は一連の囲い込み策の総仕上げ」（同）。

営業体制は当面、現状のままだが、段階的に融合させ、ＬＰガスと都市ガスを一体的に提案できる「総合エネルギー企業」の構築を目指す。

91人体制
顧客2.4万戸を深耕
オート・ＳＳ・灯油にも力

合併会社の消費者戸数は、山形ガスの２万戸に山形ガス燃料の４千戸を合わせ２万４千戸となる。社員数は、山形ガスの60人と山形ガス燃料の31人を合わせて91人になる。

山形ガス燃料はＬＰガスの直売と卸売事業、オートガス、ＳＳ経営、灯油販売を行ってきた。本「駅前」はオートガススタンド（15㌧１基）、「南栄町」は灯油配送センターを兼ねている。

合併会社の拠点数は、山形ガスの本社と白山工場、これに山形ガス燃料の３カ所を加え計５カ所となる。山形ガス燃料の本社は「山形ガス白山営業所」となる。

両社で役員を兼務していた鈴木社長を含む４人は、合併会社でも役員を務める。４人以外で山形ガス燃料から合併会社の役員に加わったのは柴田浩幸常務。山形ガス燃料の中村社長と神保真二取締役は退任した。両社の監査役を務めていた叶内紀雄氏も退任した。

新たな役員体制は次の通り。

▽社長＝鈴木俊伸▽常務＝渡邊洋実▽取締役＝長谷川吉茂、伊藤修二、柴田浩幸（新任、前山形ガス燃料常務）、杉山康則、三浦広人（同、前山形ガス営業推進部副部長）▽監査役＝三浦新一郎、中村拓（新任）▽顧問＝山川堅司、石川幸一（前山形ガス常務）

中部

◇名古屋支局◇
名古屋市中村区那古野１-38-１
星光桜通ビル５階
☎052(566)2290
FAX052(566)2291

Ｓｉコンロを全戸に
パロマ北陸「情熱」持ち販売支援

パロマ北陸支店（山本正樹支店長）は２０２０年、「情熱」をスローガンにＳｉセンサーコンロ普及率１００％を目指し、販売店の営業活動を全力でサポートする。顧客接点の強化や販売支援策の拡充を通じ、ガス機器メーカーとして取り替えサービスナンバーワンを目指す。

山本正樹支店長

Ｓｉコンロの普及率は全国平均81・６％に対し北陸地方は69・５％（石川66・４％、富山75・３％、福井66・０％）。３県で非Ｓｉセンサー型のこんろが約21万台残存していると推定され、販売店とＳｉ化を進め普及率１００％を目指す。

顧客接点の強化は、チラシやダイレクトメール（ＤＭ）を活用した販促戦略を通じ、モノの提案を推進する。その一環で「春の新生活チラシ」を作成した。パロマ製品独自の機能を紹介するとともに、アパートの新規入居者や新生活に向け買い替えを検討している人を対象に、ホームセンターや量販店でなくガス販売店から購入すれば取り付けからアフターフォローまでサポートしてもらえることをＰＲしている。

表面に季節感ある北陸のイベント情報を掲載し、見てもらいやすく捨てられにくい工夫を凝らした。季節チラシのほか製品やキャンペーンなどの自社情報を提供し、販売店と顧客との継続的な関係づくりに有効なコミュニケーションツールとなるＤＭ販促企画を展開する。販売支援策は需要喚起の提案と人材育成に注力し、価値の提案を行っている。

北陸支社は今年も金沢営業所でパロマ学校金沢会場を開校する。６月以降、厨房メンテナンスやガス機器の基礎、営業力強化などの各種研修を実施する予定。

ひと言

上野ガス　中井茂平社長

中井茂平・上野ガス社長は

「新型コロナウイルスの感染者が拡大するなかでも、お客さまがガスを使用される以上、私たちはお客さまと歩んでいかねばならない」と事業者の使命を説く。「衣類乾燥機で65度Ｃくらいの熱風を当てれば、衣類に付着した菌を死滅させる効果があるかもしれない。ガスの需要増にも貢献できないかと考え「帰宅時は、うがいや手洗いだけでなく、頭から全身シャワーを浴びるのも対策の一つかもしれない。ガスの需要増にもつながる」と指摘。「ファンヒーターにはプラズマクラスターの機能が付いている。空気中にイオンを放出することで不活化が実証されれば、一部屋に１台に備えたいとの話になるだろう」と話した。

新型コロナで全世界が混乱するなか、正常な状態への回復に向け「環境機器を通じガス業界が少しでもお役に立てれば」との思いを抱く。

ガス機器で殺菌期待

電気セット販売 5月スタート
にかほガス 東北電力と提携

にかほガス（本社・にかほ市、松下剛社長）と東北電力は３月30日、都市ガスと電気のセット販売に関する業務提携契約を締結した。

にかほガスは、にかほ市のガス事業を譲り受けＴＯＫＡＩグループの東海ガスが昨年設立。１日から事業を開始した。

両社はセットプランを５月から提供する。にかほガスの都市ガスと東北電力の「よりそうプラス２」eねっとバリュー」または「よりそうプラスファミリーバリュー」を契約し、ＴＯＫＡＩグループの「ＴＬＣ会員サービス」に登録すると「ＴＬＣポイント」がたまる。

事務所移転
エネサンス東北石巻支店（１日）
▽住所＝〒986－0861石巻市わかば２－９－31 ☎0225－94－1431 FAX同96－7672

料金支払い期限延長
新型コロナで１ヵ月
サーラグループ

サーラエナジー（本社・豊橋市、鳥居裕社長）とサーラＥ＆Ｌ東三河、サーラＥ＆Ｌ名古屋、サーラＥ＆Ｌ静岡、グッドライフサーラ関東、サーラｅエナジーは、経済産業省の「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたガス料金の支払猶予等に係る要請」を受け都市ガス、ＬＰガス、電気料金の取り扱いを変更する。

新型コロナの影響で生活福祉資金貸付制度「緊急小口資金」「総合支援資金」の特例措置に基づく貸し付けを受けた顧客が対象となる。一時的にガス、電気料金を期限までに支払うことが困難であると申請することが条件。対象顧客の２、３、４、５月の各検針分の料金の支払い期限をそれぞれ１カ月間延長する。それぞれの早収期間経過後も早収料金を適用する。

【訂正】３月23日付３面の移動無線センターの記事で、同センターが「一般社団法人」とあるのは「一般財団法人」の誤りでした。

デマンドレスポンス スマホで楽しく
東邦ガス モニター1000世帯募集

東邦ガス（本社・名古屋市、冨成義郎社長）は（同、石原克典社長）やヤマサ總業（同、道山岳司社長）などのグループ企業でも、同電気の顧客で同会員であれば応募できる。

デマンドレスポンスは電力需要が高まる時間帯などに供給側が需要側に消費量抑制を依頼し、電力負荷の平準化を促す取り組み。実証試験では、同社のそうした節電リクエストに対するモニターに充当し、割引券や商品に交換できる。

試験開始にあたり、キャラクター「ぽっぽ」や「ぴっぴ」の育成などの機能を搭載したスマートフォンアプリを開発した。ぽっぽたちが部屋の中を動き回り表情を変えたり、省エネアドバイスをして節電のお願いをする。ＱＲコードを利用したスタンプラリーもできるほか、節電協力の回数に応じキャラクターのレベルが上昇したり、節電に協力した人数をグラフィカルに表示する。

モニターの募集期限は５月22日まで。ウェブページで募集を受け付けている。

スマートフォンサイトの画像イメージ

参加者の反応や実際の節電による抑制効果などを検証する。

実証試験の一環で、石垣智徳・南山大学経営学部教授のゼミナールと参加者が楽しんで節電できる仕掛けやイベントを企画し、新たなサービスにつなげる。

電力需要が高まる時期や時間帯の節電リクエストに対し、参加者がエアコンの冷暖房を弱めたり家の電気を切って外出するなどして協力した場合、インセンティブとしてポイントを提供する。節電以外にもイベント参加やスマートフォンアプリのコンテンツ利用で特典が与えられる。参加者がためたポイントはアプリ内ゲームのアイテム購入やＣｌｕｂ ＴＯＨＯＧＡＳの「がすてきポイント」に充当し、割引券や商品に交換できる。

充填の確認・供給の合理化・安全と企業のＰＲに
小さなキャップで 大きな効果
24時間受注　FAX:０５３２(４１)３１３７
ニューＰキャップ　株式会社 名豊技研
製造販売元
豊橋市草間町字東山28
☎0532(45)4522　〒441-8141

人材を有効活用
5月末に増車計画
グローブ物流センター 供給安定化へ導入
8.2㌧工業用バルクローリー

３月に導入した。流通と労務の最適化を図るため５月に１台増車する

ＥＮＥＯＳグローブエナジーの関係会社、グローブ物流センター（本社・青森市、木村幸雄社長＝ＥＮＥＯＳグローブエナジー北日本支社執行役員支社長）は３月に８・２㌧工業用バルクローリーを導入した。工業用供給の一層の安定化と人材の有効活用が目的で、５月末に同容量の給を追加導入する計画。２０１７年に八戸市、18年に秋田市の２次基地が閉鎖され、北東北のローリー出荷は青森市の１次基地に集中しローリー輸送業務がタイトになっている。専用のローリーを増車することで、工業用顧客や充填所への供給の安定化を図りたい。

人材の有効活用も大きな理由。配送員の高齢化に加え、定年延長や定年後再雇用問題に対応するためには、高齢者が安心して働き続けられる環境づくりが必要だ。ローリー業務は容器配送よりも体への負担が小さく、高齢になっても続けることができると考えた。

グローブ物流センターは、現在は容器配送や民生用バルクの充填を主要業務としているが、前身時代はローリー輸送も行い、多い時は大型ローリー４台を稼働させていた。ノウハウもあり、当時からの有資格者が複数人いることも今回の導入を後押しした。

バルク20年更新での
シリンダー化対策製品
ホクエイ
新型容器スタンド
HYDシリーズ
〈新発売〉

スタンドのみタイプ

・チェーン２本掛け対応
・漏れ検知メーター取り付け可能
・調整器取り付け可能
50㌔容器４本用　ＨＹＤ－200
50㌔容器５本用　ＨＹＤ－250

フルスペック
（スタンド＋パネル＋ルーフ＋扉）

品　名	規格・型式	標準価格（税別）
容器スタンド４本用	ＨＹＤ－200	70,000円
容器スタンド５本用	ＨＹＤ－250	95,000円
隔壁パネル970	共通パネル	36,500円
隔壁パネル1270	ＨＹＤ－250用後部パネル	39,000円
４本用ルーフ	ＨＹＤ－200ルーフ	24,000円
５本用ルーフ	ＨＹＤ－250ルーフ	26,500円
４本用扉	ＨＹＤ－200扉	41,500円
５本用扉	ＨＹＤ－250扉	71,500円

HYDシリーズの特徴
◎充実のオプション
・火気を遮る隔壁パネルを左右、後部に取り付け可能
・直射日光を遮るルーフ
・イタズラ防止用扉
◎簡単施工
・専用のアンカー位置変更で小型基礎へのアンカー取り付け
・既存基礎への取り付けによる沈下による傾きリスクの軽減
◎シリンダー化対策のコストダウン

ホクエイ　株式会社 ホクエイ
本　社／〒007-0882 札幌市東区北丘珠2条3丁目2番30号　TEL(011)781-5111　FAX(011)784-2265
関東営業所／〒362-0021 埼玉県上尾市原市3206-3 江端ビル2階　TEL(048)721-9091　FAX(048)721-9081
西日本営業所／〒567-0861 大阪府茨木市東奈良2丁目18-15-102号　TEL(072)637-5500　FAX(072)637-5501
福岡駐在所／〒818-0315 福岡県太宰府市向佐野2丁目10-5-402号　TEL(092)918-3936　FAX(092)918-3937
ホクエイホームページ　https://www.hokuei.co.jp/　E-mail　info@hokuei.co.jp